江別市の1年間のごみの量

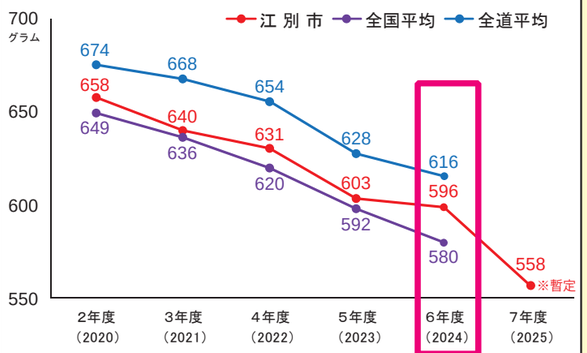
33,955トン（令和7年度）　＊ごみ収集車で約17,000台分

① 市内の家庭から出されたごみ（23,919トン）

1日平均 65.5トン ・ 1人1日平均 558グラム

燃やせるごみ（17,348トン）	燃やせないごみ（1,559トン）	大型ごみ（242トン）	資源物（4,696トン）	危険ごみ（74トン）
			市で収集したもの　805トン 自治会などで回収したもの　3,891トン	

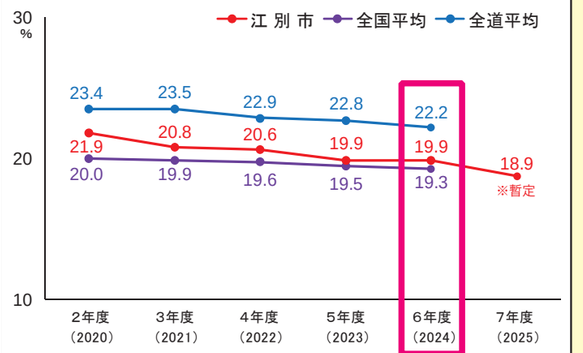
1人が1日に出す家庭ごみの量



江別市では、1人当たりが1日に出すごみの量が少しずつ減ってきており、全道の平均よりも少なくなっています。

ごみの量を減らすためには、一人一人が、不要なものは買わず、物を大事にし、繰り返し使うようにすることが大切です。

リサイクル率

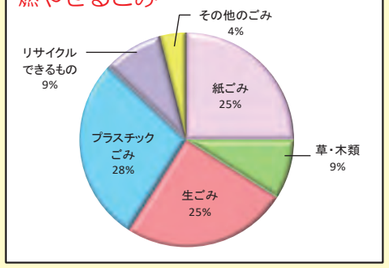


家庭からごみや資源物として出されたもののうち、リサイクルされたものの割合をリサイクル率といいます。皆さんが、ごみと資源物をきちんと分けていることや、自治会や学校で沢山の資源物を回収していることから、江別市のリサイクル率は全国平均より高くなっています。

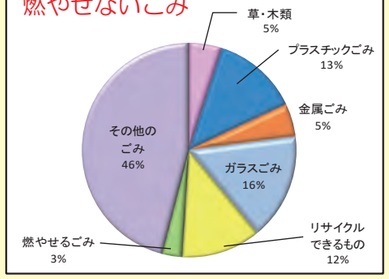
② 市内の会社やお店から出されたごみ（10,036トン）

家庭から出るごみや資源物の割合

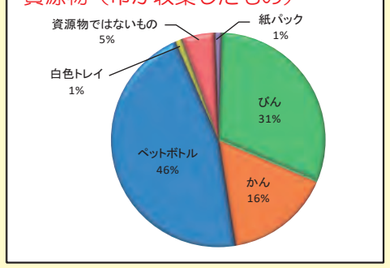
燃やせるごみ



燃やせないごみ



資源物（市が収集したもの）



※ 令和7年度時点

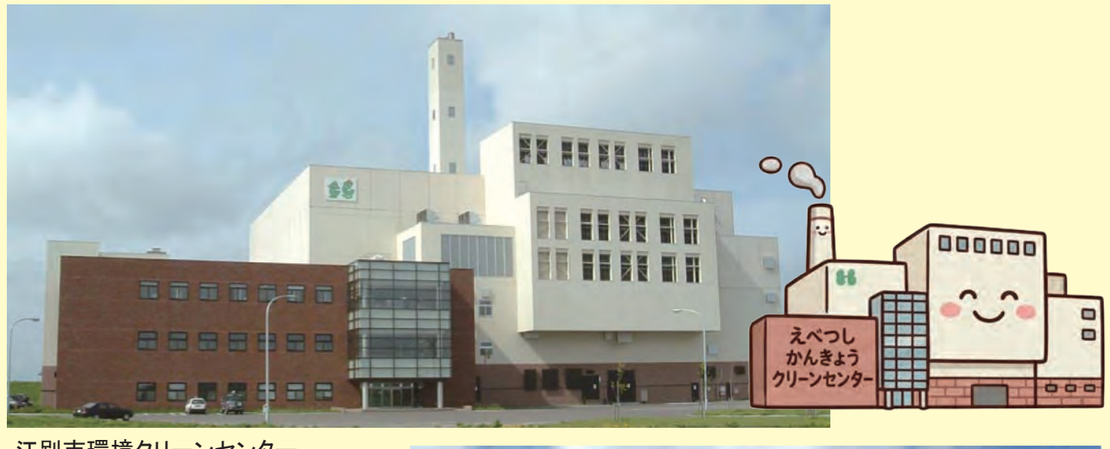
江別市のごみ
発行　江別市役所生活環境部環境室廃棄物対策課
江別市工栄町14番地の3　　電話 011-383-4211
https://www.city.ebetsu.hokkaido.jp/site/gomi/

リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

江別市のごみ

ごみを減らして、大切な地球の環境を守っていきましょう





江別市環境クリーンセンター



江別市リサイクルセンター



令和	年	月	日
	学校	年	組
名前			

家庭から出るごみの処理方法などを調べてみよう。

江別市のごみ処理の仕組み

令和8年4月現在

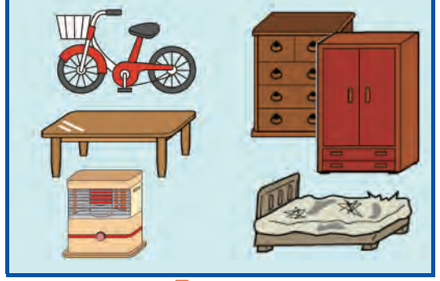
燃やせるごみ



燃やせないごみ



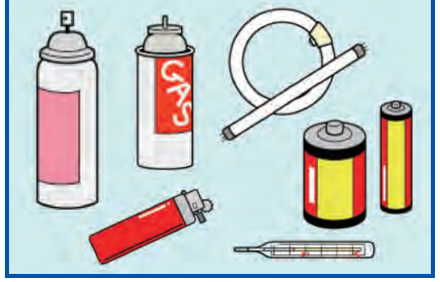
大型ごみ



資源物



危険ごみ









熱分解ドラム



ごみを450度で蒸し焼きにして、ガスと炭の粉を作ります。

燃焼溶融炉



1,300度の高温で燃やします。

スラグ



灰は、細かなガラス状にし、安全なものにします。道路用資材などに再利用できます。

粗破砕機

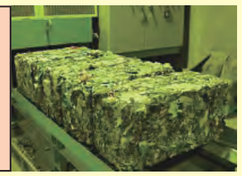


回転式破砕機



2基の破砕機でごみを細かく砕いて、燃えるものは、燃やせるごみとして処理し、鉄やアルミなどを取り除きます。

鉄・アルミ



取り除いた鉄やアルミなどは、資源として再利用します。

埋立地



残ったごみは、埋め立てます。
（広さ：約3万4千平方メートル）

選別コンベア



集めた資源物を種類別に分けます。

圧縮機



資源物を小さくつぶします。

白色トレイ減容機



集めた白色トレイを溶かし、棒状に固めて、資源として再利用します。

びんの保管ヤード



アルミ・スチールかん



ペットボトル



かん、ペットボトルはそれぞれ束ねて、びんは茶色・無色・その他の色に分けて、資源として再利用します。



集めた乾電池や蛍光管をストックヤードで一時保管します。その後、江別市外の処理工場へ運び、資源として再利用します。

スプレーかん処理機



集めたスプレーかんなどを安全に処理し、取り出した鉄を資源として再利用します。

●1日に処理できるきるごみの量

140トン
（70トンの炉が2基）



●余熱の利用

ごみを燃やす時に出る熱で発電をしたり、環境クリーンセンターの冷暖房を行っています。

施設での1年間の発電量は、家庭で1年間に使用する電力の約2,553戸分にもなります。

施設での1年間の発電量	約9,567,630kWh
道内の家庭の1年間の使用電力量※	約3,747kWh

※環境省「令和5年度家庭部門のCO^2排出実態統計調査資料編（確報値）」より

環境クリーンセンター

●1日に処理できる資源物の量

- びん類 …… 約10.1トン
- かん類 …… 約 6.2トン
- ペットボトル 約 1.0トン
- 紙パック …… 約 1.0トン
- 白色トレイ … 約 0.2トン



リサイクルセンター



ストックヤード